



## せんすいかんは、どうしてもぐったりういたりできるの

### タンクの中の水を出したり、入れたりする

せんすいかんは、ふつうの船と同じように、もともと水の上でうくようにできています。これはせんすいかんの中に、たくさんの空気がつまっているからです。

せんすいかんが水にもぐるときは、せんすいかんのバラスト・タンクというタンクの中に水を入れます。すると、せんすいかんは重くなり、水の中にしずんでいくのです。

もぐったせんすいかんが、また、うかぶときは、その逆です。バラスト・タンクの中に入れた水を外に出してしまえば、せんすいかんは軽くなって、うかんでくるのです。バラスト・タンクに入っている水を、強い力でおし縮めた空気を使って、おし出すのです。

### 50日以上もぐっていられる原子力せんすいかん

原子力せんすいかんは、原子力エネルギーで動きます。一度水中にもぐると、50日以上も続けてもぐっていることができます。また、1回燃料を入れると、2年以上も続けて動きまわることができます。（監修・青木 国夫）

